

## 公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 704)	当院における先天性十二指腸狭窄症、閉鎖症の治療 経験の分析
当院の研究 責任者(所属)	小児外科 川端誠一
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	希少疾患である先天性十二指腸狭窄症、閉鎖症は併 存疾患を有することが多く、治療を継続的に必要としま す。今回我々の施設での治療経験をまとめて報告し、 今後の治療に役立てたいと考えています。
調査データ 該当期間	2013年4月1日から2025年3月31日
研究の方法	後ろ向き観察研究。当院で経験した希少疾患である先 天性十二指腸狭窄症、閉鎖症症例の臨床背景と治 療経過の分析を行います。フォローアップ必要性のリス ク因子を分析します。
個人情報の 取扱い	研究報告あるいは発表の際は個人が特定されるような情報 (氏名等)は一切公表しません。データ解析時は番号で匿名 化されたものを解析対象とします。
本研究の資金源 (利益相反)	ありません。
お問い合わせ先	熊本市民病院小児外科 川端誠一 電話:096-365-1711
備 考	